

ハラハラ・ドキドキ・裏方ボランティア物語

えにし結び名簿の左端に★印がついた老若男女。MSW、PSW、PT、OT、介護福祉士、医師、医療事故の遺族、がんサバイバー、大学教授、ビジネスマン、ジャーナリスト……。多彩な顔ぶれの共通点は、たった1つ。国際医療福祉大学大学院の医療福祉ジャーナリズム分野を「ふるさと」と思っている裏方ボランティアの院生、卒業生です。

最初の10年は、仙台に拠点のあるNPO法人全国コミュニティーライフサポートセンター（CLC）の方が、一肌脱いで裏方をつとめてくださっていました。ところが、東日本大震災。「人は乱世にボラになる」の法則どおり、院生卒業生が立ち上がりました。CLCの方々からノウハウを教えていただき、不慣れな世界へと漕ぎだしたのでした。

◆映像配信&ツイッターボラ

2010年から実験的にUstream配信が始まりました。当初は苦勞した電波も時代と共に環境整備され、以前より格段に安定して来ました。それでも生中継にトラブルはつきもので、毎回ドキドキしています。励みになっているのは、海外にいらっしゃる「えにし」の方や当日会場に来られない方からの喜びと温かいお言葉です。機材も4映像をスイッチング、字幕や音声も高品質で届けられるようにバージョンアップしています。（外注したらウン十万円のレベル！）また、後日Youtubeで見えけるようにアーカイブもしております。生中継&アーカイブのURL ご案内はえにしメールでご確認下さい。

◆資料配布ボラ

お手元の手提げの中に資料は、見本をお送りいただき、封入の順番を考え、細かい確認作業があるので一覧表完成は、当日の未明。朝10時には「袋詰めボランティア」を志願して下さった方々が会場に到着集合。送られてきた段ボール約50箱を開いて、セットしていきます。届くはずの資料が届かないこともしばしばで、ハラハラドキドキの連続ですが、それでも、膨大な資料400セットを1時間で終わらせるという離れ業に毎年成功（*^ー^*）。資料袋の山は相当な重さになり、開始前から汗だくでの作業です。それでも「疲れより充実感でいっぱい」「来年もボランティア志願します」という声も飛び交い、皆様の貴重な思いを、資料袋の中に込めてお届けしています。

◆プログラムづくりボラ

かつては、仙台を拠点として活動をするNPO法人全国コミュニティーサポートセンター（CLC）の方が当日未明まで無料奉仕で印刷し、インクが乾いたところで仙台から運んで来て下さいました。

いまは、卒業生がレイアウトし、印刷はプロにお任せしています。入稿が遅れると値段が跳ね上がるので、徹夜仕事になるのは同じです。

今年は「えにし」のみなさんから、伝えたい想いの詰まった原稿が予測をはるかに超えて次々届き92ページにもなるという嬉しい事態になりました。

超多忙のなか、印刷に耐えうる解像度の写真や細々したデータをお送りいただき最高傑作の保存版資料となるよう協力していただきました。みなさんの情熱をプログラムに凝縮させるため、レイアウトは入稿当日まで手直しを繰り返しています。入稿前夜と当日が、一番忙しいのです。

◆名簿&胸の名札作り&満員御礼判定ボラ

当初はCLCの方たちが、手紙と返信ハガキをいれ、発送までひきうけてくださっていたのですが、いまはすべてメールで受信。えにしメールでお知らせすると、その日のうちに100人を超える申し込みが殺到します。必死でコピペし、エクセルに転記し、同時に、昼の部・夜の部の定員に達するかどうかを常にカウントします。以前は参加者に名簿のPDFファイルを作成して確認メールを発送していましたが、今はメール受付して2~3日のうちに、名簿掲載情報をコピペして返信しています。今年はPCをマックに変えているので文字化けに悩まされています。ともあれキャンセル率が極めて低く、みなさんが年に一度のこの企画を楽しみにしておられるのが、ひしひしと伝わってきます。当日は受付ボラをしています。みなさんのお名前を大分覚えられましたので、どうぞお声掛けください。

◆受付まわりなど、もろもろ

会計、受付周辺の細々した仕事、会場案内、書籍販売、登壇者のお迎え、情報保障、全体統括、PCやプロジェクター周りのセッティングと操作、記録写真・映像、全てボランティアです。

事前の会場の手配と交渉、横断幕・登壇者垂れ幕など各種表示サインの手配や作成、周辺のレストラン事

情の調査、保育サービスの手配も。配慮の必要な方々の案内、お釣り、掲示物、トイレのこと、雨の場合のタオル準備などなど、無事故で快適に過ごして頂きたい細かなことにも話が及びます。

受付では会計、名札を取り、席をくじ引きで決めていただくため、お待たせしませんよう、事前打ち合せを重ねながら臨みます。小物印刷ボラは前日寝ずにプリントアウトし続け、職場で仮眠後リュックで持参。書籍ボラは重たい段ボール箱を次々にあげ、販売コーナーに登壇者の著書を並べます。撮影ボラは朝から撮影スタートし万歩計は相当に。会場内では、司会ボラが練習を繰り返し、設営ボラが全ての機器の操作確認。

続括は会場を走り回って全体点検…。皆様がお越しになる時間にはボランティア一同、肉体労働後とは思えない爽やかな笑顔でお迎えます。1日ボランティアは肩にリボンを付けていますので、何なりとお尋ねください。

会の終了後は録音音声の文字起こし、写真の整理からウェブサイトへのアップ、動画の整理と公開……。イベントのプロとは程遠いメンバーが、指揮命令系統があるようでない、ファジーな体制のなか、「思い」だけで進行にあたっていますので、数々の不行き届きがあるに違いありません。次回の改善に役立てさせていただきますので、どうかご助言をお寄せください。

